
開発お役立ちパック スタートアップガイド

～ 1分でわかる開発お役立ちパック ～

1.0版

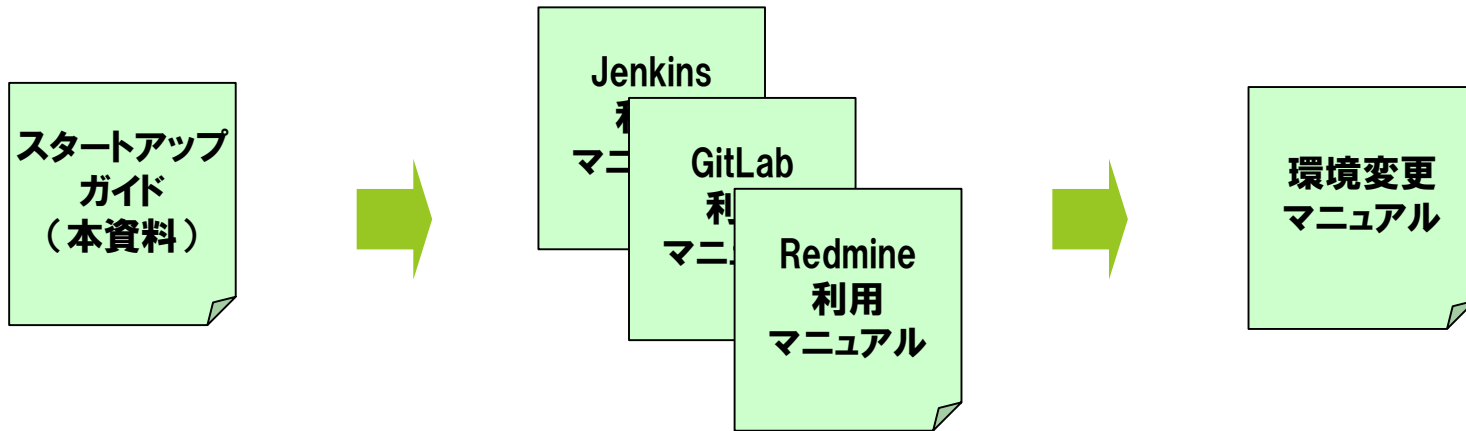
2013年7月3日

ビッグロープ株式会社

はじめに

「開発お役立ちパック」のご購入ありがとうございます。本資料では商品概要とご利用開始までのステップをご説明します。

「開発お役立ちパック」のマニュアル構成は以下の通りです。



①ご利用開始までの
ステップ

②各OSSへのユーザ
情報登録手順 など

③セキュリティ確保を考慮
した推奨設定 など

ご利用のための前提知識 :

(管理者)

Linux操作の基礎知識

(プロジェクトの参加メンバ) 特になし

開発お役立ちパックの特長

アジャイル開発に便利なOSSをパック

プロジェクト管理・製造・テストで活躍するOSS(オープンソースソフトウェア)をセレクト

購入から最短10分でプリインストールサーバご提供

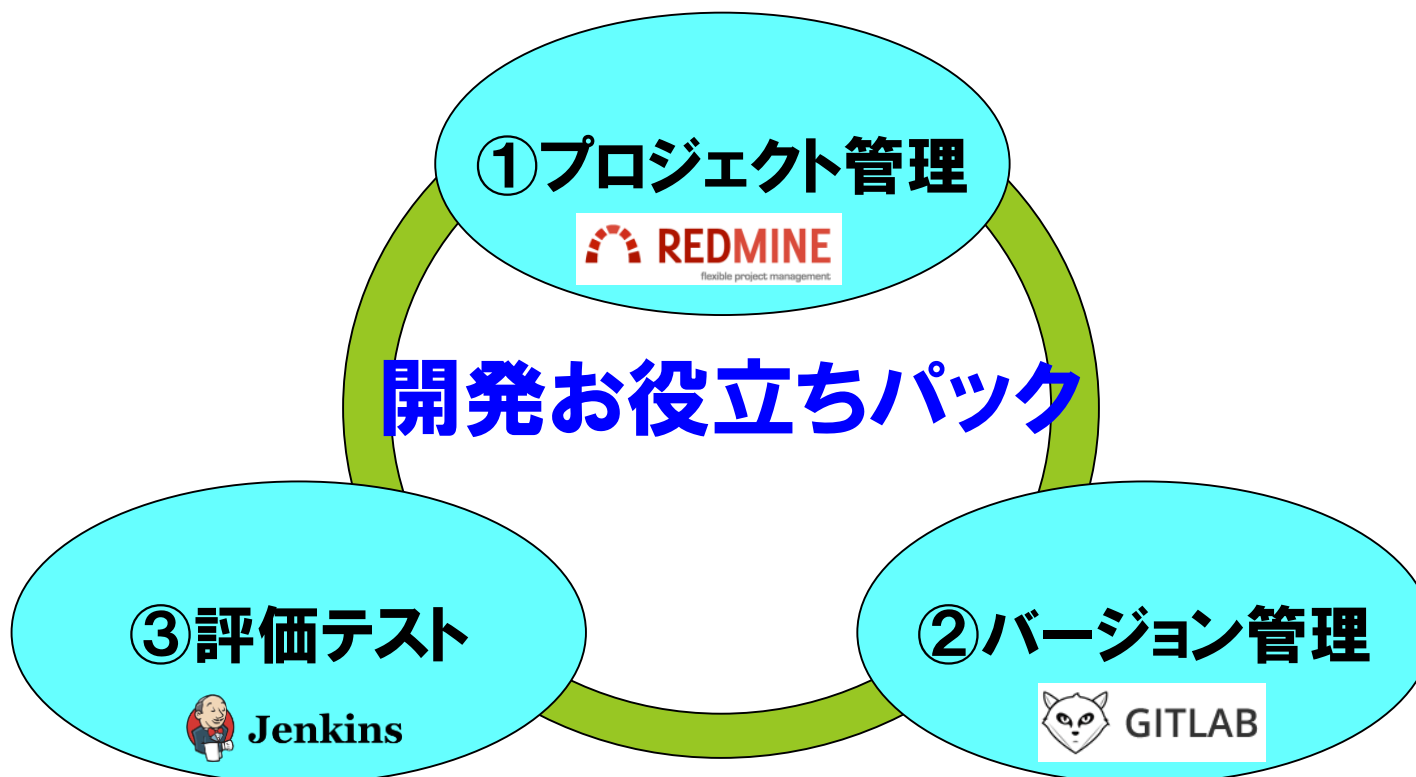
クラウドアプリストアからプリインストールサーバを購入

BIGLOBEクラウドホスティング サーバ料金のみで利用可能

料金はBIGLOBEクラウドホスティングのLinuxサーバ分のみ
※BIGLOBEクラウドホスティング利用のためのネットワーク等環境費用を除く

3つの機能とソフト

開発お役立ちパックにはプリインストールされているOSSは以下の通りです



① Redmine	プロジェクト・タスクの進捗管理と情報共有
② Git/GitLab	開発するソースコードのバージョン管理
③ Jenkins	開発ソースのビルドとテストの自動化、ジョブの実行監視

① Redmine でプロジェクト管理

プロジェクト管理

タスク管理・進捗管理・情報共有がこれ一つで可能。
多彩な画面で、プロジェクトの見える化が進みます。



課題管理や各種開発支援機能

機能拡張により、課題管理や開発・バグ管理・構成管理など、さまざまな用途へ適用できます。



利用方法は
こちら→

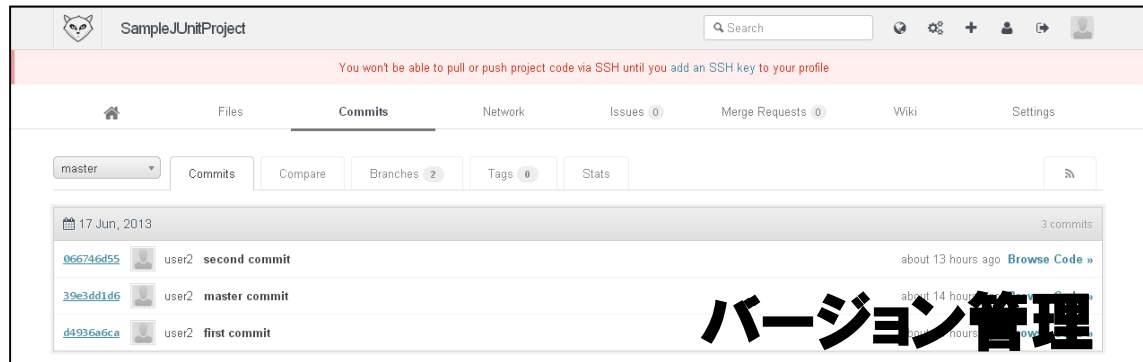
Redmine
利用
マニュアル
第3章

② Git/GitLab でバージョン管理

バージョン管理

Linuxカーネルを始めとする各種OSSのソースコードの管理にも使われている、分散バージョン管理システム「Git」。

Gitlabを使うと、Gitで管理している開発ソース・成果物の変更履歴の記録と管理状況がWebから確認できます。



利用方法は
こちら→

GitLab
利用
マニュアル
第3章


③ Jenkins で評価テスト

ビルド・テストの自動化

開発ソースコードの更新をトリガーに、あらかじめ登録されている手順に従い、自動的にビルドやテストを実行し、その結果をレポートします。


外部ジョブの実行監視

cronやリモートサーバで実行されるジョブの出力を記録し、動作の異常を自動検知・監視することができます。



The screenshot shows the Jenkins console output for a build job. The 'Console Output' tab is selected. The output text includes: 'ユーザー: anonymousが実行', 'ビルドします。ワークスペース: /root/.jenkins/jobs/JenkinsJOB/workspace', 'Checking out Revision ce25087b327028e40957d1e45724b2f1db714bfe (origin/HEAD, or origin/master)', 'Fetching upstream changes from origin', 'Seen branch in repository origin/HEAD', 'Seen branch in repository origin/master', 'Seen 2 remote branches', 'Commencing build of Revision ce25087b327028e40957d1e45724b2f1db714bfe (origin/HEAD, or origin/master)', 'Checking out Revision ce25087b327028e40957d1e45724b2f1db714bfe (origin/HEAD, or origin/master)', 'No change to record in branch origin/master', '[workspace] \$ ant', 'Buildfile: build.xml', 'JUNIT:', 'compile:', '[[jvsc]] Compiling 1 source file to /root/.jenkins/jobs/JenkinsJOB/workspace/build/classes', 'jar: [[jar]] Building jar: /root/.jenkins/jobs/JenkinsJOB/workspace/build/lib/sample.jar', 'compiletests:', 'runtests:', 'BUILD SUCCESSFUL', 'Total time: 8 seconds', 'Finished: SUCCESS'. A red box highlights the 'Console Output' tab in the left sidebar. A large watermark of a character is visible in the background.

ビルドの自動化



The screenshot shows the skipfish web application security scanner results. The scanner version is 2.10b, scan date is Wed May 29 20:50:02 2013, random seed is 0x5b1fa429, and total time is 0 hr 1 min 27 sec 945 ms. The results are categorized into 'Document type overview' and 'Issue type overview'. The document type overview lists: application/xhtml+xml (4), image/gif (20), image/png (19), and text/html (3). The issue type overview lists: HTML form with no apparent CSRF protection (1), Password entry form - consider brute-force (1), Unknown form field (can't autocomplete) (5), Directory listing enabled (9), New 404 signature seen (1), and New 'Server' header value seen (1). A large watermark of a character is visible in the background.

ソースコードの脆弱性診断

利用方法は
こちら→

Jenkins
利用
マニュアル
第3章

ご利用開始までのステップ

ご利用いただくために、管理者にて各OSSに初期設定が必要です

①プロジェクト管理



1. 管理者としてログイン
2. ユーザ登録
3. プロジェクト作成とメンバー追加

設定方法は
こちら→

Redmine
利用
マニュアル
第2章

②バージョン管理



1. サーバ設定変更
2. 管理者としてログイン
3. ユーザ登録

設定方法は
こちら→

GitLab
利用
マニュアル
第2章

③評価テスト



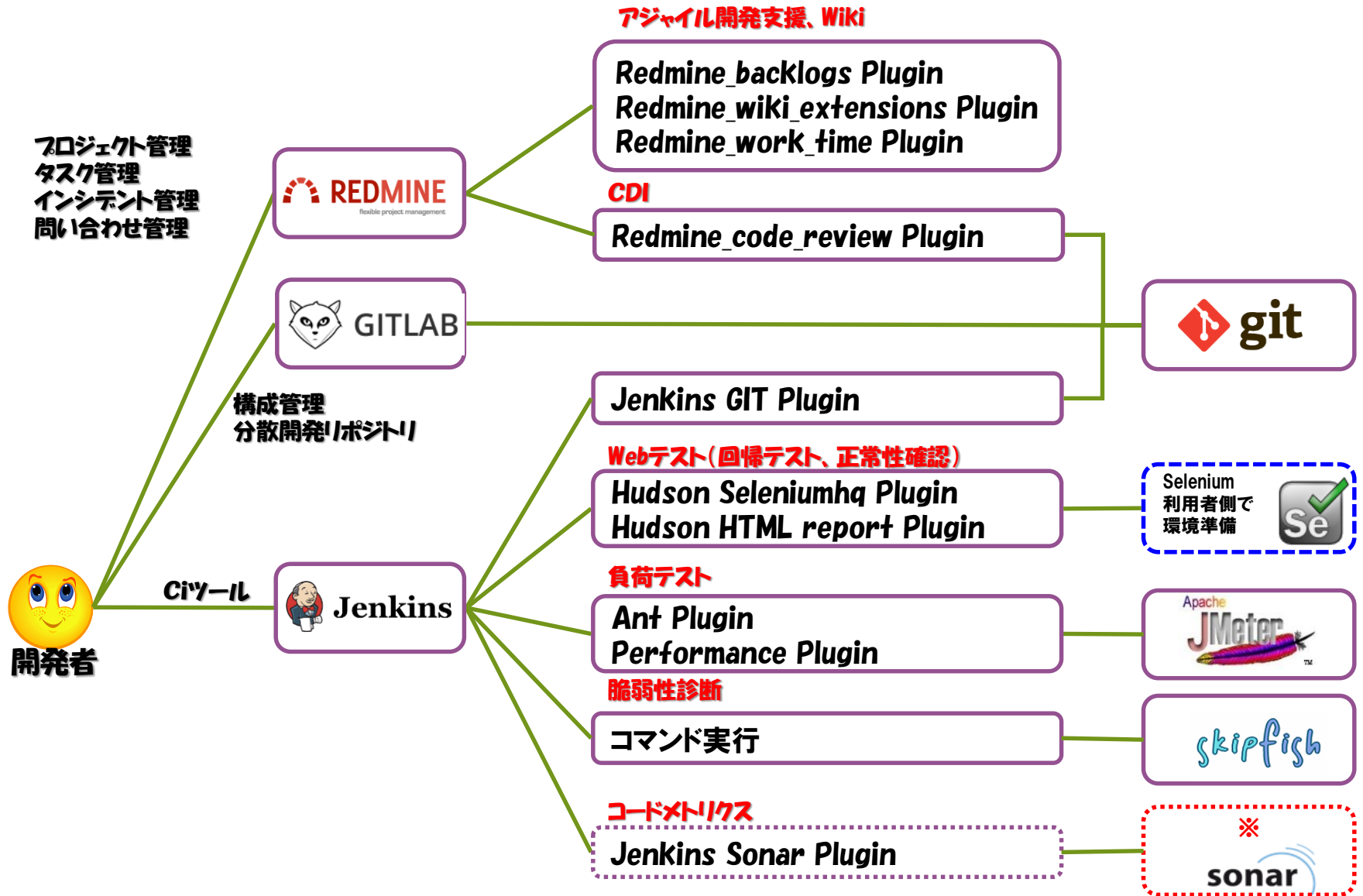
1. 管理者としてログイン
2. ユーザ登録
(以下はA2ご利用者のみ)
3. コードメトリクス設定

設定方法は
こちら→

Jenkins
利用
マニュアル
第2章

3.コードメトリクスは第3章第5節

開発お役立ちパックのOSS構成



開発お役立ちパック

スタートアップガイド

1.0版 2013年7月

ビッグロブ株式会社